

議会の動き

議会、委員会
協議会、調査等

6月定例議会以後(平成24年6月19日～平成24年9月18日)の
議会の本会議、委員会、協議会、調査等について紹介します。

6/26	7月臨時議会の提出予定議案の追加について、本会議における緊急質問の取り扱いについて(議会運営)
6/28	所管事務県外調査(総務文教)(～29日)
7/2	第31回反核平和の火りレー(議運副委員長)
7/4	平成24年第4回海田町臨時議会 / 議事日程の追加について(議会運営)
7/5	所管事務県外調査(福祉厚生)(～6日)
7/19	所管事務県外調査(建設産業)(～20日)
7/26	平成24度海田市駐屯地夏祭り行事(副議長)
7/27	平成24年度県道矢野安浦線整備促進協議会(副議長)
7/31	9月定例議会の開会日及び会期日程について、一般質問の通告締切日について(議会運営) 中学校生徒の問題行動における現状報告 ほか(総務文教) / 平成24年度広島県市町トップセミナー(議長)
8/1	平成24年度広島県中央地域振興対策協議会総会(議長)
8/2	庁舎建設特別委員会における中間報告について(庁舎建設) / 議会基本条例について(議会改革)
8/3	2012年原水爆禁止国民平和行進(総文委員長)
8/7	平成24年度安芸自衛隊協力会総会(議長) / 第2次海田町障がい者基本計画について ほか(福祉厚生)
8/9	平成24年第1回安芸地区衛生施設管理組合議会臨時会 / 平成24年広島県海田高等学校財産組合議会 安芸郡町議会議長連絡協議会 / 安芸郡4町 町長・議長懇談会(議長)
8/17	防犯カメラの情報提供に係る手続きについて ほか(建設産業)
8/22	9月定例議会の提出予定議会について、陳情等の取り扱いについて(議会運営)
8/23	広島県町議会議員研修会
8/31	議会だより編集①(広報)
9/4	平成24年第5回海田町定例議会開会日(～5日) 議会基本条例について(議会改革)
9/5	議会だより編集②(広報)
9/10	議会だより編集③(広報)
9/11	平成23年度決算審査特別委員会
9/13	議会だより編集④(広報)
9/18	議会だより編集⑤(広報)

詳しくは
13ページ

詳しくは
14ページ

詳しくは
2～3ページ

※委員会や協議会などの名称は、次の略称で掲載しています。

総務文教委員会…(総務文教) 庁舎建設特別委員会…(庁舎建設)
福祉厚生委員会…(福祉厚生) 議会改革特別委員会…(議会改革)
建設産業委員会…(建設産業) 議会運営委員会…(議会運営)
全員協議会…(全協) 議長出席…(議長) 副議長出席…(副議長)
総務文教委員会委員長…(総文委員長)
議会運営委員会副議長委員長…(議運副委員長)
議会広報広聴調査特別委員会…(広報)

総務文教委員会県外調査

調査日 / 平成二十四年六月二十八・二十九日
調査地 / 福岡県嘉麻市・熊本県八代市
調査事項 / 行財政改革について ほか

嘉麻市では、団体への補助金の見直しや保育所の民営化、人件費の削減などにより財政のスリム化を図る一方で、「嘉麻市」を県内外に広く知ってもらうためのプロジェクトを立ち上げ、特産品の開発や地域のブランド化を目指した戦略が行われていました。また企業誘致を目的としたメガソーラーの稼動、U・I・Jターンの戦略による若者の取り込み、市民が「市民に対して提供する事業」を応援する「市民提案型プロジェクト」など、活気ある町づくりに向けた戦略が行われていました。

管理者制度の導入や施設の民間譲渡、人件費の削減のほか、各事業のあり方を、「廃止から拡充まで」を検討して見直しを図る「事業仕分け」が行われるなど、行政のスリム化に向けた取り組みがなされていました。



誘致したメガソーラー

などの活動が行われていました。両市の財政状況は当町以上に厳しいものではありますが、行政のスリム化、歳入の確保に向けた取り組みは興味深いものでありました。

福祉厚生委員会県外調査

調査日／平成二十四年七月五・六日
調査地／愛知県武豊町・高浜市
調査事項／介護予防に関する取り組みについて

武豊町では、高齢者が住み慣れた町で自立した生活が続けられるように様々な面から総合的な支援を行っていました。その一つが「憩いのサロン」であり、健康維持の体操や脳トレ、おしゃべりを中心とした楽しい行事を開催し、高齢者の健康づくりと社会参加を積極的に進めていました。また、事業運営においては、地域関係者、行政機関、介護サービス所、医療機関などが連携し、継続的な支援やサービスが提供できる体制を確立していました。

同市では、高齢者人口増による保険料の増加が見込まれ、介護保険計画の見直しのために保険料の増額を検討する状況にあります。そこで、介護予防拠点整備事業費補助金を活用し、閉店した店舗などを改築すること

で、宅老所宅老所を設置し、高齢者等に外出の機会を提供し、認知症予防や家での閉じこもりを予防する取り組みを行っています。両市町の取り組みは、持続可能な事業展開、事業費の抑制、補助金の活用などが大変参考になりました。



宅老所

建設産業委員会県外調査

調査日／平成二十四年七月十九・二十日
調査地／熊本県熊本市・宇城市
調査事項／熊本駅周辺整備について
／宇城市鳥獣被害防止計画について

熊本市では、熊本市共同で策定した「熊本駅周辺地域整備基本計画」に基づき、連続立体交差事業や区画整理事業、道路網の整備、市街地再開発事業など都市基盤の整備を計画的に進め、広域交通結節機能の向上や都心と一体となった行政・商業・業務施設の集積する情報・文化の交流拠点の形成を目指していました。しかし、九州新幹線関連事業は順調に進められていたにもかかわらず、国の厳しい財政事情からその他の事業の進捗は厳しい状況にありました。

宇城市では、イノシシ・シカ・カラスによる農作物被害が多発していることが伺えた。両市とも事業展開に苦慮



熊本駅前